

令和3年度事業報告書

社会福祉法人ともかわさき

目次

1	法人の事業運営について	1
2	評議員会・理事会	3
3	監査等の状況	5
4	諸会議	6
5	職員研修	6
6	事業別項目	7
	（1）生活介護事業	7
	（2）就労支援事業	13
	（3）短期入所事業	13
	（4）相談支援事業	15
	（5）共同生活援助事業	16
	（6）福祉ホーム（指定管理事業）	18
	（7）地域生活支援事業	18
	（ア）とも移動支援等事業所	18
	（イ）日中一時支援事業所ひらま	19
	（ウ）障害者生活支援・地域交流事業	20
	（8）給食（配食）サービス事業	21
	（9）地域福祉事業	21
	（10）団体等補助・支援事業	21
	（11）地域福祉施設ちどり（管理運営委託）	22
	（12）地域における公益的取組	22
7	付属明細書	22

1 法人の事業運営について

令和3年度は法人が平成8年に設立し25年となる節目の年であったが、前年度に引き続き新型コロナウイルスの流行は収まることは無く、第4波とともに年度が始まり、第6波の中で年度末となった。利用者の皆様には安心して利用していただけるよう感染予防対策を講じ事業継続に努めたが、行事の自粛、一部の事業所ではクラスターによる一時休止など様々な面で影響を受けた。

このような社会環境下であったが、社会福祉法人として基盤を固めるため、事業運営については、各事業所主導としつつも事業所への事業自己点検シート作成義務化や法人本部による指導面談の実施等、コンプライアンス強化と管理体制の確立に努めた。

さらに、福祉サービスの根幹である権利擁護の推進として、令和4年度の虐待防止委員会設置義務化に向け、委員会を設置し取り組み内容の整理を行った。また、10月を権利擁護月間とし職員の意識向上を図った。事業所ごとに振り返りを行い、権利擁護推進のために取り組みを行った。

令和3年度の重点項目については、以下のとおり取り組んだ。

(1) 財務基盤の安定

法人財務については、新型コロナウイルス（COVID19）の影響による利用率の低下などによる事業収入の減少が生じたが、在宅電話支援等の実施による事業収入の確保、人事などによる人件費比率の適正化、ライブラリー個室化事業の補助金確保、資金の適切な運用などを図り財務状況の悪化に対応した。法人運営積立資産額の増加を行い財務基盤の安定を図った。

(2) 人材の確保と育成

人材確保については、年間を通して新卒・中途採用を行った。求人方法は、法人ウェブページ・有料求人サイト・ハローワーク等への掲載を中心に行い、その他に女性のための就職フェア等のイベントへの出展、看護職員については人材紹介を利用して確保した。福祉職の魅力を知ってもらうため、職業体験の機会の提供や保育士等の実習受け入れを行い、将来の採用に結び付ける方策も行った。

人材の育成については、知識及び技能の習得と向上を目的に階層別・職務別の法人内研修や外部研修参加を実施した。新型コロナウイルスの影響により集合研修ができないときはオンラインを活用し職員の研修機会を確保した。

(3) 就労継続支援B型事業所の開設

新規事業として就労継続支援B型事業所を障害福祉施設おおしま内に川崎市わーくす大島後継施設として「就労支援事業所おおしま」を令和3年10月に開設した。

事業の民間移管を川崎市と協力して進め、利用者も円滑に移行でき計画どおり事業開始した。

(4) 事業所の整備

ア 「生活介護事業所おおしま」の開設

川崎区大島4丁目に新設した障害福祉施設おおしま内に「生活介護事業所おおしま」を令和3年4月に開設した。

障害福祉サービス事業所「かざぐるま」から利用者移行を丁寧に行い、適正に事業開始した。

障害福祉サービス事業所「かざぐるま」は移転に伴い「生活介護事業所おおしま」に改称した。旧建物は解体し事業用地を川崎市に返還した。

イ 「生活介護事業所ひさすえ」の開設

高津区久末寺谷市営住宅敷地内に「生活介護事業所ひさすえ」を令和3年4月開設した。

障害福祉サービス事業所「第1やまぶき」、障害福祉サービス事業所「第2やまぶき」からの利用者移行を丁寧に行い、適正に事業開始した。

障害福祉サービス事業所「第1やまぶき」は移転に伴い「生活介護事業所ひさすえ」に改称し、障害福祉サービス事業所「第2やまぶき」は廃止した。旧建物は解体し事業用地を川崎市に返還した。

ウ (仮称)北加瀬障害福祉サービス事業所の建築

旧つくし事業用地に建築する障害福祉サービス事業所の設計を行った。生活介護事業所と地域相談支援センターの合築とし令和4年度に建築工事を行う。新たな生活介護事業所の名称は「生活介護事業所かせやま」と決定した。

エ 短期入所事業所「ライブリー」の個室化改修工事

平成8年開所後、居室は1室定員2名で運営してきたが、感染症予防、プライバシー保護等の観点から、より利用者が安心して利用できる環境を整備するため、個室化改修を行った。令和3年12月下旬より全室を個室として稼働を開始した。

改修事業費については、川崎市に要請を行い新たに補助金を確保することができた。

オ 事業所の保全計画

建物の長寿命化のため、新築の「なかはら障害福祉施設ひらま」及び「障害福祉施設おおしま」の施設保全計画の策定に着手した。

「ライブリー・わたりだ」についてはエレベーターの修繕工事を行った。

事業所整備

月	内容
4月	生活介護事業所おおしま開設(かざぐるま移転) (仮称)幸区北加瀬障害福祉サービス事業所改築設計業者入札
6月	かざぐるま・やまぶき解体撤去工事入札
8月	かざぐるま解体工事着工
9月	かざぐるま解体工事完了 やまぶき解体工事着工
10月	就労支援事業所おおしま開設 ライブリー個室改修工事着工
11月	やまぶき解体工事完了
12月	ライブリー個室改修工事完了
3月	生活介護事業所かせやま設計完了 ライブリー エレベーター改修工事

(5) 地域との連携・交流

パラアート活動については、「まちかどパラアート展」を鹿島田駅前、幸区役所、溝のロノクティプラザで開催した。絵画教室「アトリエひらま」を法人事業のほか川崎市文化財団令和3年度パラアート推進公募型事業として開催した。なかはら障害福祉施設ひらまの「相談交流ひらま」では、定期的にダンス教室「HIRA☆DAN」やボランティア参加のファーマーズ菜園事業を行い地域交流機会の提供を行った。また、冬季事業としてプロジェクションマッピングを実施し地域の方たちに楽しんでいただけた。

法人運営については、以下のとおり取り組んだ。

(1) コンプライアンスの強化と管理体制の確立

法人事業の運営に関しては、各事業所主導としつつも事業所への事業自己点検シート作成を義務化した。事業所への法人本部による指導面談は12事業所で実施した。内部監査の実施などにより法令に基づく事務事業実施の徹底及び法令遵守の徹底に努めた。各報告書の定期的な提出、管理職会議の開催、事務局通信の発行など法人本部による全体の管理体制を継続した。

(2) 事業所運営体制の整備

法人事業を4部門（通所サービス、地域生活支援、居住支援、事務）に整理し、管理運営体制を整備した。今年度一部の事業所の管理者に人材育成の面から主査を充て、管理者兼務の解消を図った。継続的に行い兼務解消を図っていきたい。

(3) 権利擁護の推進

利用者の権利擁護、虐待防止などをテーマにした研修を計画に基づき実施した。
また、毎年10月の権利擁護月間には各事業所で独自の取り組みと研修を行った。

(4) 労務管理

職員は法人運営の財産と考え、出産、育児、介護など職員の状況に応じた働き方が可能な労働環境の整備に努めた。

また、就業管理システムにより勤務状況を把握することにより適正な労務管理を行い、残業削減など職員が働きやすい業務体制の構築に努めた。

2 評議員会・理事会

(1) 評議員会

令和3年度定時評議員会をもって評議員の任期満了となり、評議員は以下のとおりになった。

定数 7～9名

評議員 明石 洋子、池田 健児、田部井 恒雄、富永 健太郎、成田 すみれ
西矢 健一郎、藤井 礼子、美和 とよみ

開催状況

第73回評議員会 評議員会を開催することなく決議の省略で実施

日 時 令和3年4月1日(木)
議 案 第1号議案 定款変更の件

第5回定時評議員会

日 時 令和3年6月23日(水) 10時00分～11時30分
場 所 なかはら障害福祉施設ひらま 会議室
議 案 第1号議案 令和2年度決算の件
第2号議案 次期理事・監事の選任の件

(2) 理事会

令和3年度定時評議員会をもって理事及び監事の任期満了となり、理事及び監事は以下のとおりになった。

定 数 理事6名 監事2名
理事長 桑原 賢治
理 事 石戸 保夫、水野谷 博路、渡辺 典彦、堀内 昭広、市田 慎一
監 事 星 栄、奥山 浩子

開催状況

第95回理事会

日 時 令和3年6月4日(金) 10時00分～11時00分
場 所 なかはら障害福祉施設ひらま 会議室
議 案 第1号議案 定時評議員会の招集の件
第2号議案 次期理事・監事の推薦の件
第3号議案 令和2年度事業報告の件
第4号議案 令和3年度事業計画の件
第5号議案 (仮称)幸区北加瀬障害福祉サービス事業所(つくし)改築の件
第6号議案 就業規則一部改定の件
第7号議案 令和3年度第1次補正予算の件
第8号議案 運営規程の一部改定の件

第96回理事会

日 時 令和3年6月23日(水) 11時30分
場 所 なかはら障害福祉施設ひらま 会議室
議 案 第1号議案 理事長・常務理事の選任の件
第2号議案 評議員選任・解任委員の選任の件
第3号議案 運営規程の制定・一部改定の件
第4号議案 令和3年度第2次補正予算の件

第97回理事会 決議の省略で実施
日 時 令和3年9月21日(火)
議 案 第1号議案 就労支援事業所おおしま運営規程の一部改定の件

第98回理事会
日 時 令和3年12月3日(金) 10時00分～10時30分
場 所 なかはら障害福祉施設ひらま 会議室
議 案 第1号議案 給与及び退職金規程改正の件

第99回理事会 決議の省略で実施
日 時 令和4年1月11日(火)
議 案 施設長等の任命の件

第100回理事会
日 時 令和4年3月29日(火) 10時00分～12時00分
場 所 なかはら障害福祉施設ひらま 会議室
議 案 第1号議案 就業規則の一部改定の件
第2号議案 育児・介護休業等に関する規則の一部改定の件
第3号議案 給与及び退職金規程の一部改定の件
第4号議案 経理規程の一部改定の件(令和4.3.31 施行)
第5号議案 経理規程の一部改定の件(令和4.4.1 施行)
第6号議案 令和4年度事業計画の件
第7号議案 令和4年度予算の件
第8号議案 運営規程の改定の件

3 監査等の状況

(1) 法人監事監査

監事による内部監査 令和3年5月28日(金)

(2) 法人指導面談

理事長、事務局長、法人事務局管理職、他事業所管理者が事業所を訪問し、事前提出調書により、事業所役職職員及びサービス管理責任者から運営状況等の報告を受け質疑等を行った。

令和3年11月12日	わたりだ
11月16日	むぎの穂
11月19日	短期入所事業所ひらま、日中一時支援事業所ひらま 相談交流ひらま
11月24日	生活介護事業所ひさすえ
11月26日	たちばな
12月7日	なしの実
12月17日	なかのしま5・なかのしま6
12月21日	地域相談支援センタードルチェ
12月23日	どりーむ

4 諸会議

事業執行委員会	事業執行委員（理事長及び理事）
4/13、5/12、6/15、7/13、8/6、9/7、10/12、11/9、12/3、1/11、2/8	
管理職・管理者会議	管理職・事業執行委員・管理者
4/21、5/18、6/22、7/20、8/20、9/14（書面）、10/19、11/17、12/10	
1/18、2/18、3/22（書面）	
主査主任会	主査・主任・担当管理職
3/17	
サービス管理責任者会	サービス管理責任者・担当管理職
4/20、10/21、3/3	
看護師会	看護師・担当管理職
5/21	
栄養士会	栄養士・担当管理職

5 職員研修

新人職員研修会 令和3年度採用職員（新卒・中途）対象

主な対象	内容	月日	場所
1年目職員	法人の理念、業務マニュアル	4/7、4/15、4/22 11/8	ひらま
	福祉職としての「仕事への意識・取り組み方」	4/28、5/13	ひらま
	福祉職としての「仕事への意識・取り組み方」	11/10、11/11	ひらま
	安全な施設運営について	1/20、1/27	オンライン
	他事業所の先輩職員との交流	2/9	オンライン

新入職員ガイダンス（令和4年度採用職員対象）

主な対象	内容	月日	場所
1年目職員	新入職員ガイダンス	3/31	ひらま

法人内研修（階層別、職務別）

主な対象	内容	月日	場所
2年目職員	記録について	6/2、6/9	ひらま
	障害特性について	7/7、7/14、7/28 8/4、8/18、8/25	オンライン
	利用者・家族への精神的ケア	11/4	ひらま
	障害者虐待と防止について	2/3、2/15、2/22	オンライン
3年目職員	法人の理念に基づく権利擁護	10/7	ひらま
	虐待防止と行動制限	10/11	ひらま
	コミュニケーション、伝え方	10/6	ひらま
	福祉制度の理解	10/13	ひらま
	利用者満足を考える	9/29	ひらま
中堅職員	リーダーシップ研修	5/25	オンライン
	問題解決	6/17、1/13	オンライン
	インシデントプロセス法による事例検討会	10/28	ひらま
	リーダーシップ研修	12/16	オンライン

サビ管	職場コミュニケーション研修	5/19、12/14	オンライン
主任・主査	モチベーション研修	5/11、12/9	オンライン
限定なし	コンサルテーション(事例研究)	5/27、6/24 10/18、11/18	ひらま

安全運転講習会

主な対象	内容	月日	場所
1年目職員	運転実地、車両運転講習会	7/8、12/13	各事業所
車両担当者	運転講義	10/27	ひらま

外部研修会

業務命令及び職員の希望等により外部機関等の開催する研修会に職員派遣した。

6 事業別項目

(1) 生活介護事業

生活介護11事業所で、利用定員合計408名で障害者総合支援法に基づき事業を実施した。

事業所では、車両による利用者送迎サービス、日中活動として作業・文化・余暇・スポーツレクリエーション・給食・介護・就労支援などのサービスを提供した。

新型コロナウイルスのクラスターにより、たちばな、あかね、ちとせが一時休所した。

生活介護事業所おおしま			
利用者の状況			
利用者数	30名	(定員35名)	
新規利用者数	1名	(特別支援学校1名)	
利用終了者数	3名	(退所先等 ふくふく、桜の風、なかのしま4)	
利用者援助の基本方針			
<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの人権を尊重し、利用者主体の上質なサービスを提供する。 実践した後振り返って検証することで支援に厚みを持たせる。 			
送迎	車両台数	3台	送迎利用者数 概ね23名
	送迎エリア	川崎区・幸区	
防火・防災訓練状況			
火災想定	6/9	おおしまトンボ公園へ避難	
地震・火災想定	10/19	おおしまトンボ公園へ避難	
火災想定	1/17	おおしまトンボ公園へ避難	
地震・火災想定	3/9	駐車場へ避難	
大きな行事・地域交流等			
健康診断	6/15	AOI病院の検診車にて、施設内での健康診断	
夏祭り	7/21	室内にてミニ夏祭り	
お楽しみ会	11/26	室内にて食事・ゲーム・出し物・アート制作・キッチンカー	
新年会	1/7	新年会 書初め・福笑い他	
年度末茶話会	3/31	室内で一年間の行事をスライドで振り返りながら茶話会	

わたりだ			
利用者の状況			
利用者数	18名	(定員20名)	
新規利用者数	0名		
利用終了者数	2名	(「どリーむ」「らしくる」へ移行)	
利用者援助の基本方針			
<ul style="list-style-type: none"> 環境を整備し、障害特性や相性に配慮できるようになる。 情報共有や支援の見直しが有効に行える仕組みを作り、利用者ごとに適切なサービスを提供できるようになる。 			
送迎	車両台数	3台(内リフト車1台)	送迎利用者数 概ね16名
	送迎エリア	川崎区、幸区	
防火・防災訓練状況			
避難訓練	11/24	火災想定	
総合訓練	2/17	地震・火災想定	
大きな行事・地域交流等			
健康診断	6/15	AOI病院の検診車にて、施設内での健康診断	
ワクチン集団接種	8/10	「おおしま」にてワクチン集団接種	
	8/31		
お楽しみ会	9/22	プラ板づくり、映画鑑賞、カラオケ	
クリスマス会	12/22	室内で食事・レク	

むぎの穂			
利用者の状況			
利用者数	27名	(定員40名)	
新規利用者数	1名	(特別支援学校)	
利用終了者数	1名	(転居)	
利用者援助の基本方針			
<ul style="list-style-type: none"> 利用者・ご家族が安心して利用できる施設を目指す。 利用者やご家族、グループホームそれぞれのニーズを把握、利用者することに努め、本人主体とは何かを考えて、他機関とも連携を取りながら上質なサービス提供を行う。 			
送迎	車両台数	3台	送迎利用者数 概ね19名
	送迎エリア	川崎区・幸区	
防火・防災訓練状況			
避難訓練	5/24	地震を想定	
総合避難訓練	7/20	地震から火災を想定	
避難訓練	11/11	地震から火災を想定	
避難訓練	1/18	火災を想定	
総合避難訓練	3/22	地震から火災を想定	
大きな行事・地域交流等			
夏祭り	7/16	室内レク・調理	
調理会	6/18・9/17・11/19		
スペシャル外出デー	10/15	マザー牧場	
	10/22		
お楽しみ会	12/17	クリスマス会	
節分会	2/3		
茶話会	3/30		
この他に、むぎ人の旅(個別外出)を行った。			

どりーむ				
利用者の状況				
利用者数	19名 (定員 20名)			
新規利用者数	0名			
利用終了者数	1名 入所施設へ移行のため			
利用者援助の基本方針				
<ul style="list-style-type: none"> • 利用者が「安心」して利用できるサービスを提供する。 • より「上質なサービス提供」を目指す。 (法人の理念に基づいた施設運営を目指す。) 				
送迎	車両台数	2台(内リフト車 1台)	送迎利用者数	概ね 14名
	送迎エリア	幸区・中原区		
防火・防災訓練状況				
避難訓練	5/28	震災想定	避難訓練	1/25 震災想定
避難訓練	7/27	水害想定	避難訓練	3/18 震災・火災想定
避難訓練	9/22	火災想定		
大きな行事・地域交流等				
歓迎会	4/2			
かき氷会	8/12	かき氷にデコレーション		
昼食会	5/12・6/15・9/28・10/22・1/28・2/17			
忘年会	12/24	昼食会・室内レク		
お楽しみランチ	12/6	海ほたるでランチ		
	12/7			
	12/13			
慰労会	3/25	デザートとお茶会、送別会		

生活介護事業所ひらま				
利用者の状況				
利用者数	45名 (定員 40名)			
新規利用者数	5名 (特別支援学校 3名、在宅その他 2名)			
利用終了者数	3名 (桜の風 1名、川崎ラシクル 1名、在宅 1名)			
利用者援助の基本方針				
<ul style="list-style-type: none"> • ひらまは利用者の皆様の「安心」を心がけてサービスを提供します。 • 利用されるみなさまの立場になって考え、丁寧な支援を提供します。 • ひとりひとりが元気で楽しく、自信をもって活動できるよう支援します。 				
送迎	車両台数	7台(内リフト車 6台)	送迎利用者数	概ね 37名
	送迎エリア	幸区・中原区		
防火・防災訓練状況				
避難訓練	5/17	地震を想定	避難訓練	11/29 地震を想定
総合訓練	7/20	地震・火災を想定	避難訓練	1/12 地震を想定
避難訓練	9/22	外出時の地震を想定	避難訓練	3/3 火災初期消火失敗を想定
大きな行事・地域交流等				
ひらままつり	10/22	フロア毎にアトラクションや歌と踊りなど行う		
クリスマス会	12/17	ひらま内にて映画やプレゼントなど		
キッチンカー	3/18	「バスハイク」の代案として実施。		
個別外出		ひらま玄関前にステーキ店とひらま利用者でドリンク店を開店 行先を 1カ所に限定、緊急事態宣言やまん延防止等措置の期間は中止し希望者は一人1回外出		

生活介護事業所ひさすえ			
利用者の状況			
利用者数	45名	(定員 57名)	
新規利用者数	0名		
利用終了者数	0名		
利用者援助の基本方針			
<ul style="list-style-type: none"> ・ ご利用者さんの安全と権利擁護を常に優先する。 ・ ご利用者さん一人ひとりの障害特性に応じた個別プログラムの充実を図る。 ・ 地域との繋がりを大切にし、地域貢献をする。 			
送迎	車両台数	7台(内リフト車3台)	送迎利用者数 概ね 39名
	送迎エリア	高津区・中原区・宮前区	
防火・防災訓練状況			
通常訓練	7/17	地震からの火災想定	
通常訓練	9/17	地震からの火災想定	
防災ミーティング	1/8	職員全体にて避難経路・消火器具・DVD 鑑賞・通報の仕方の再確認	
総合防災訓練	2/2		
大きな行事・地域交流等			
ハロウィン	10/29	施設内にて仮装・ゲーム	
クリスマス会	12/22	デリバリーランチ	
新年会	1/8	地域清掃・関係者も来所	
節分会	2/5	仮装	

たちばな			
利用者の状況			
利用者数	32名	(定員 34名)	
新規利用者数	1名	在宅その他 1名	
利用終了者数	0名		
利用者援助の基本方針			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 作業・創作的など日中活動の場を提供し、日常活動支援や社会参加活動を促し、上質なサービスができるよう職員の資質向上を目指す。 			
重点目標			
<ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ禍を言い訳せずに、出来ることを模索して取り組む。 			
送迎	車両台数	3台(内リフト車1台)	送迎利用者数 概ね 21名
	送迎エリア	高津区・中原区	
防火・防災訓練状況			
避難訓練	4/27	地震・火災想定	
避難訓練	6/15	地震・火災想定	
総合避難訓練	8/3	地震・火災想定	
避難訓練	10/15	地震・火災想定	
総合避難訓練	3/24	地震・火災想定	
大きな行事・地域交流等			
クリスマス会	12/16	レストランで解職	
送別会	3/31	お花見ドライブとデリバリーランチ	
<ul style="list-style-type: none"> ※日帰り旅行はウィルス感染拡大予防の為、今年度も未実施。 ※地域交流は、今年度も地域の方やボランティアさんに参加して頂く新年会は感染予防のため未実施。代わりに定期的な公園清掃等で地域交流を図った。 			

ちとせ				
利用者の状況				
利用者数	34名	(定員40名)		
新規利用者数	1名	(特別支援学校1名)		
利用終了者数	3名	(ラシクル、桜の風、えぼっくハウス)		
利用者援助の基本方針				
<ul style="list-style-type: none"> 利用者、家族等とコミュニケーションを密にとる 職員間、関係者間の情報共有を徹底する 可視化しているもののみならず潜在するニーズを把握し支援に繋げる 常に研鑽に努め、職員の専門性を高める 				
重点目標				
<ul style="list-style-type: none"> 利用者のニーズを知り適切に支援できる職員集団になる 				
送迎	車両台数	4台(内リフト車3台)	送迎利用者数	概ね23名
	送迎エリア	高津区・宮前区		
※ 共同募金会の助成により送迎車両を購入し、老朽化した車両と入れ替えた。				
防火・防災訓練状況				
避難訓練	5/12	地震を想定	避難訓練	11/10 地震を想定
避難訓練	7/14	火災を想定	避難訓練	1/19 土砂災害を想定
避難訓練	9/29	洪水を想定	総合避難訓練	3/16
大きな行事・地域交流等				
ゲーム大会	9/4	例年 秋祭り。各種ミニゲームを楽しむ		
クリスマス会	12/4	出し物、飾りつけ、プレゼント		
書初め大会	1/8	新年の抱負等を話し書初めを行う		

すえなが				
利用者の状況				
利用者数	37名	(定員40名)		
新規利用者数	0名			
利用終了者数	2名	(逝去、在宅)		
利用者援助の基本方針				
<ol style="list-style-type: none"> 支援の個別化の充実 個別化を図るためのケースの掘り下げ(ケース会議の実施) 利用者支援の方法(虐待防止・権利擁護の観点から)を共有 環境整備 				
重点目標				
<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりのニーズ・個性・特技を尊重した支援を目指す 				
送迎	車両台数	3台	送迎利用者数	概ね22名
	送迎エリア	高津区・宮前区		
防火・防災訓練状況				
避難訓練	5/24	地震想定	総合避難訓練	11/19 火災想定
総合避難訓練	7/27	火災想定	避難訓練	1/19 地震想定
避難訓練	9/27	地震想定	避難訓練	3/14 地震想定
大きな行事・地域交流等				
お楽しみ会	6/28	ゲーム大会とキッチンカーランチ		
イベント	8/6	マジックショー、ランチ会		
イベント	11/26	殺陣教室とちんどん屋さん		
クリスマス会	12/17	会食、催し物		
※ 今年度も、新型コロナウイルス感染拡大予防の為、日帰り旅行(遠足)は中止。代わりに感染予防対策の徹底したイベントを実施。				
※ 地域交流…地域清掃を定期的実施				

あかね				
利用者の状況				
利用者数	56名	(定員 47名)		
新規利用者数	3名	(特別支援学校 1名、その他 2名)		
利用終了者数	3名	(入院 1名、死亡 2名)		
利用者援助の基本方針				
<ul style="list-style-type: none"> 1人の大人として個性を尊重し、1人1人に寄り添った支援を行います。 職員間では連携を大事にし、支援計画に沿った支援を提供いたします。 法人の理念を理解し実践できる職員集団を目指します。 				
送迎	車両台数	8台(内リフト車3台)	送迎利用者数	概ね 50名
	送迎エリア	多摩区・麻生区・宮前区		
防火・防災訓練状況				
避難訓練	4/27	火災想定(2F)・地震想定(1F)		
避難訓練	5/31	火災を想定(1・2F)		
避難訓練	8/31	地震を想定(1・2F)		
避難訓練	10/21	火災を想定(1・2F)		
避難訓練	12/22	火災を想定(1・2F)		
避難訓練	3/25	地震を想定(1・2F)		
大きな行事・地域交流等				
あかねまつり	10/9	演目等利用者主体のお祭り 事前に撮影したものを上映するなどコロナ対策を行った		
個別外出		1人年2回。前期、後期ともにドライブ中心。昼食はテイクアウト(屋外又はあかねで食べる)。		
グルメ旅行	6/23 7/9,15	ソレイユの丘にて食事。福祉バス2台、中型バス1台、送迎車3台利用。		
クリスマス会	12/4	職員によるクリスマスコンサート、プレゼント抽選会、ケーキでクリスマスを楽しむ。		
新年会	1/8	初詣ドライブ、あかね神社でおみくじを引き、甘酒と洋風饅頭でお正月気分を演出した。		
茶ちゃっと会	3/31	お菓子と飲み物、1年間の写真をスライドショーで鑑賞し、1年を振り返った		

なしの実				
利用者の状況				
利用者数	36名	(定員 35名)		
新規利用者数	1名	(在宅 1名)		
利用終了者数	1名	(死去 1名)		
利用者援助の基本方針				
<ul style="list-style-type: none"> 法人の理念を遂行しつつ、表面に見えていることだけにとらわれず、その人の本質(魅力的な部分や長所)を見る目を持つことを大切に考えていく。 				
送迎	車両台数	5台(内リフト車2台)	送迎利用者数	概ね 32名
	送迎エリア	多摩区・麻生区・宮前区の一部		
防火・防災訓練状況				
避難訓練	5/10	地震想定	総合訓練	11/9 火災想定
避難訓練	7/6	火災想定	避難訓練	1/12 地震想定
避難訓練	9/14	地震想定	総合訓練	3/9 火災想定
大きな行事・地域交流等				
個別外出	10~11月	全グループ HANABIYORI を散策し外食を楽しんだ。		
秋祭り	10/22	ボーリング大会とパフォーマンス大会を行う。昼食は秋の味覚弁当を注文。		
クリスマス会	12/10	クリスマス亭に行きランチ会を行う。		
新年会	1/8	書初め、なしの実神社初詣を行い、食事は釜寅のデリバリー		

(2) 就労支援事業

障害福祉施設おおしま（川崎区大島4丁目）内に10月に開設した就労継続支援B型「就労支援事業所おおしま」で、定員20名で障害者総合支援法に基づいた事業を実施した。

就労支援事業所おおしま	
利用者の状況	
利用者数	20名（定員20名）
新規利用者数	20名（わーくす大島20名）
利用終了者数	0名
利用者援助の基本方針	
<ul style="list-style-type: none"> 「わーくす大島」からのスムーズな移行を心掛け、利用者・保護者の不安を除去する為、丁寧な説明を心掛ける。 民間移行に伴うサービス等の変化に、出来る限りのフォローを行う。 	
防火・防災訓練状況	
避難訓練	3/25 地震・火災想定 駐車場へ避難
大きな行事・地域交流等	
ハロウィン工作会	10/9
COLORSかわさき展見学	11/16、11/17
カラオケ大会	12/4
七草リゾット作り、書初め	1/8
※原則として土曜日以外のレクリエーションは無い。	

(3) 短期入所事業

短期入所2事業所で、障害者総合支援法に基づき事業を実施した。

① 「ライブリー」

短期入所を利用定員10名、日中短期入所は利用定員5名で実施した。短期入所定員10名のうち2名は「川崎市障害者(児)緊急短期入所ベッド確保事業要綱」に基づく緊急入所定員とした。

事業所では短期宿泊及び日中活動のサービスを提供した。給食については業務委託を行い利用者に提供した。昼食は生活介護事業所わたりだの利用者等にも提供した。

居室改修後の12月から一人一室での個室利用となりました。

1. 利用者の状況(利用宿泊数)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均	同昨年
宿泊	男	62	69	58	72	63	76	61	46	74	90	69	82	822	2.3	1.7
	女	52	59	76	61	35	52	49	49	78	61	46	46	664	1.8	1.3
	計	114	128	134	133	98	128	110	95	152	151	115	128	1,486	4.1	3.1
内緊急枠		1	0	4	16	5	19	36	3	6	6	3	10	3	111	0.3
日中		8	10	13	12	10	7	7	8	9	8	9	12	113	0.3	

2. 障害程度区分別割合(%) ※児童1.2.3は児童の障害程度区分

区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	児童1	児童2	児童3	合計
1.0	0.0	5.6	20.4	22.7	49.0	0.0	0.0	1.3	100.0

3. 地区別割合(%)

川崎	大師	田島	幸	中原	高津	宮前	多摩	麻生	市外	合計
10.5	11.7	11.3	19.4	12.4	13.7	8.7	10.6	1.8	0.0	100.0

4. 宿泊利用集計

実人数累計	307
個人数	112
平均宿泊数	13.3

利用者援助の基本方針 ①サービス計画、ケース記録に基づいた職員の統一した対応 ②選択肢を設けた充実したプログラムの提供 ③事故の再発予防 ④安全・安心と人権に配慮した支援
防火・防災訓練状況（実施月日・内容） 7月 総合避難訓練（地震・火災） 安全な場所への避難訓練（利用者共に実施） 10月 水消火器訓練（全職員対象） 3月 夜間想定総合避難訓練 ※職員が利用者役となった、シミュレーション訓練の実施。 災害時設備等の使用訓練 ※主に新規採用職員

② 短期入所事業所「ひらま」

短期入所を利用定員 12 名で実施した。事業所では短期宿泊及び日中活動のサービスを提供した。給食については生活介護事業所ひらまの配食サービスを利用した。

1. 利用者の状況(利用宿泊数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均
男	93	93	111	82	61	83	98	98	86	82	67	80	1,034	2.8
女	62	55	68	52	27	54	54	48	57	63	45	65	650	1.8
計	155	148	179	134	88	137	152	146	143	145	112	145	1,684	4.6

2. 障害程度区分別割合(%) ※児童 1.2.3 は児童の障害程度区分。

区分 1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	児童 1	児童 2	児童 3	合計
0.0	0.1	2.8	20.8	23.8	50.2	0.0	0.0	2.3	100.0

3. 地区別割合(%)

川崎	大師	田島	幸	中原	高津	宮前	多摩	麻生	市外	合計
3.8	4.2	3.7	29.2	29.9	20.6	4.7	3.7	0.2	0.0	100.0

4. 宿泊利用集計

実人数累計	676
個人数	141
平均宿泊数	11.9

利用者援助の基本方針 ①利用者個々の人格・人権を尊重した支援を行なう ②サービス計画に基づいた職員の統一した支援を行なう ③選択肢を設けた自己決定が可能な活動を提供する ④事故防止及び再発防止に努める
防火・防災訓練状況 5月 夜間火災訓練、消火訓練 6月 夜間火災訓練 9月 昼間・夜間避難訓練、防災設備自主点検 11月 地震火災訓練、夜間避難訓練 1月 昼間避難訓練 2月 昼間避難訓練 3月 全館合同避難訓練

(4) 相談支援事業

地域相談支援センター2事業所で、地域で生活する障害者及び家族等の相談に応じ、各種サービスの利用援助・調整などを通じて地域生活に必要な支援等を行う計画・地域移行の事業を実施した。

また、相談交流ひらまでは指定特定相談支援事業所として、一般相談支援及び計画相談支援を実施した。

① 地域相談支援センター「ラルゴ」(幸区)

今年度は、なかはら障害福祉施設ひらま内に事業所を置き、相談支援専門員2名で、幸区における計画・地域移行等の相談支援を行った。

利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
訪問	13	10	27	55	37	53	53	41	40	20	35	51	435
来所	5	7	5	5	9	6	5	2	10	8	3	5	70
同行	3	2	6	7	13	3	6	12	6	9	6	15	88
個別支援会議	0	2	6	11	7	13	2	2	0	2	2	3	50
計画書作成	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3

② 地域相談支援センター「ドルチェ」(多摩区)

多摩区中野島から宿河原に事業所を移転し、相談支援専門員2名で、多摩区における計画・地域移行等の相談支援を行った。

利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
訪問	21	21	47	40	39	30	44	37	50	46	44	45	464
来所	3	3	9	6	9	7	7	6	5	6	12	9	82
同行	16	10	24	19	13	18	18	15	21	23	24	21	222
個別支援会議	1	2	5	11	11	13	7	4	8	9	9	10	90
計画書作成	0	3	1	2	1	2	1	1	0	2	0	0	13

③ 相談交流ひらま(中原区)

なかはら障害福祉施設ひらま内に事業所を置き、専門相談員1名で、中原区における計画相談支援を行った。

相談対象者

	実人員 (人)	延べ相談件数							計
		身体障害	重症心身 障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機 能障害	その他	
障害者	155	0	13	730	82	0	0	19	844
障害児	0	0	0	0	0	0	0	0	0

支援方法

	訪問		面接 (来所)	同行	電話等 相談	その他	計
	家庭	関係機関					
件数	69	90	55	19	594	17	844

対応時間帯

日中	夜間	休日	計
772	9	0	781

支援内容

内容	生活支援見 守り	衣食住	健康・ 医療	家計・ 経済	余暇 活動等	子育て	不安 解消	
件数	339	13	56	2	0	0	2	
内容	対人 関係	ボランティア・研 修等の情報 提供	権利 擁護	関係機関等 の連絡調整・ 支援	福祉サービ ス	計画相談支 援・地域相談 支援	その他	計
件数	3	0	17	60	182	152	18	844

(5) 共同生活援助事業

とも共同生活事業所として7グループホームで、定員合計 34 名で障害者総合支援法に基づき事業を実施した。

世話人及び生活支援員が交代で業務を行い、食事(朝食・夕食)の提供や日常の身辺支援、通院同行などを行った。

支援にあたっては、入居者の自主性・自立性を尊重するとともに、障害特性に配慮しながら、必要な支援を提供するよう努めた。

名 称	グループホーム なんぺい		
設 置	平成 12 年 9 月	所在地	宮前区南平台 16-15-401.402.301
利用定員	女性 4 名、現員 4 名		
入居者	平均年齢 48.3 歳	就労先	福祉施設 2 名、一般就労 1 名、その他 1 名
名 称	グループホーム なかのしま1		
設 置	平成 28 年 3 月	所在地	多摩区中野島 4-20-8 1階
利用定員	男性 5 名、現員 5 名		
入居者	平均年齢 40.6 歳	就労先	福祉施設 5 名
名 称	グループホーム なかのしま2		
設 置	平成 28 年 3 月	所在地	多摩区中野島 4-20-8 2階
利用定員	女性 5 名、現員 5 名		
入居者	平均年齢 46.0 歳	就労先	福祉施設 5 名
名 称	グループホーム なかのしま3		
設 置	令和 2 年 3 月	所在地	多摩区中野島 6-6-13 1階
利用定員	男性 5 名、現員 5 名		
入居者	平均年齢 44.8 歳	就労先	福祉施設 4 名、一般就労 1 名
名 称	グループホーム なかのしま4		
設 置	令和 2 年 3 月	所在地	多摩区中野島 6-6-13 2階
利用定員	女性 5 名、現員 5 名		
入居者	平均年齢 42.6 歳	就労先	福祉施設 5 名
名 称	グループホーム なかのしま5		
設 置	令和 3 年 3 月	所在地	多摩区中野島 6-6-14 1階
利用定員	男性 5 名、現員 5 名		
入居者	平均年齢 34.6 歳	就労先	福祉施設 4 名、その他 1 名
名 称	グループホーム なかのしま6		
設 置	令和 3 年 3 月	所在地	多摩区中野島 6-6-14 2階
利用定員	女性 5 名、現員 3 名		
入居者	平均年齢 42.3 歳	就労先	福祉施設 3 名

利用状況（宿泊延回数）

入居者	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均	利用率	
なんぺい	A/区分6	30	31	30	31	31	30	31	30	31	28	31	365	30.4	100%	
	B/区分2	22	17	22	21	21	22	27	30	31	30	28	302	25.2	83%	
	C/区分3	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	365	30.4	100%	
	D/区分5	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	365	30.4	100%	
なかのしま1	A/区分4	22	18	22	20	21	21	21	22	20	19	20	250	20.8	68%	
	B/区分6	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	337	28.1	92%	
	C/区分6	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	365	30.4	100%	
	D/区分5	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	365	30.4	100%	
	E/区分4	20	18	23	20	26	19	21	19	18	19	16	243	20.3	67%	
なかのしま2	A/区分5	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	365	30.4	100%	
	B/区分4	28	30	29	29	31	28	30	30	30	29	22	341	28.4	93%	
	C/区分4	22	17	23	26	19	24	23	25	20	22	11	248	20.7	68%	
	D/区分3	22	19	23	23	22	25	22	23	23	20	24	270	22.5	74%	
	E/区分3	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	365	30.4	100%	
なかのしま3	A/区分4	15	16	22	18	21	19	20	18	20	15	26	234	19.5	64%	
	B/区分4	20	18	22	20	17	19	21	19	20	18	19	235	19.6	64%	
	C/区分4	29	23	30	22	60	28	31	28	31	31	26	370	30.8	101%	
	D/区分5	20	18	22	19	20	19	21	26	20	19	8	18	230	19.2	63%
	E/区分3	22	21	22	20	16	21	21	22	19	17	19	19	239	19.9	65%
なかのしま4	A/区分3	24	26	27	25	26	19	18	26	26	25	24	27	293	24.4	80%
	B/区分6	0	0	0	3	17	29	29	28	29	29	28	31	223	18.6	61%
	C/区分4	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	30.4	100%
	D/区分3	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	30.4	100%
	E/区分3	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	30.4	100%
なかのしま5	A/区分6	17	19	22	17	15	19	21	19	20	19	11	13	212	17.7	58%
	B/区分5	11	17	18	16	20	19	18	18	16	17	12	20	202	16.8	55%
	C/区分4	3	6	22	20	19	7	19	19	20	18	18	22	193	16.1	53%
	D/区分4	3	16	22	20	17	19	21	21	18	19	18	19	213	17.8	58%
	E/区分4	13	18	22	20	16	19	21	19	20	19	18	21	226	18.8	62%
なかのしま6	A/区分4	11	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	346	28.8	95%
	B/区分5	29	31	30	31	31	30	31	30	28	21	28	31	351	29.3	96%
	C/区分4	26	22	25	25	23	22	22	19	19	19	26	21	269	22.4	74%
														0	0.0	0%
															0	0.0
合計	709	742	808	787	830	788	830	821	820	797	738	807	9,477	789.8	76%	

防火・防災訓練状況		
なんぺい	6/11	消防用設備等点検実施
	10/7	避難訓練実施
	11/24	防火対象物立入検査実施。製造から10年経過している消火器の適正維持を指摘される。 令和4年1月に消火器を購入入替え済み。
なかのしま1・2	6/10	消防用設備等点検実施
	12/8	消防用設備等点検実施
なかのしま3・4	6/11	消防用設備等点検実施
	12/8	消防用設備等点検実施
なかのしま5・6	8/25	防火対象物立入検査実施。不備なし。
	6/11	消防用設備等点検実施
	12/8	消防用設備等点検実施

(6) 福祉ホーム（指定管理事業）

三田福祉ホームの指定管理者として利用定員 10 名、職員 4 名で「三田福祉ホームの管理に関する基本協定書」に基づき第 4 期指定管理期間（令和 3 年 4 月から令和 8 年 3 月）の 1 年目のホーム運営を行った。

利用者援助の基本方針

- ①人権を尊重し、信頼関係を築く。
- ②健康に留意して日常生活の充実を図り、安心、安全に就労が継続できるよう支援する。
- ③後見人、障害担当、支援センター、就労先等との連絡を密にし生活しやすい場を提供する。

利用者の年齢と障害程度区分の状況

	人数	年 令						障害程度区分			
		～25 歳	～30 歳	～40 歳	～50 歳	51 歳～	平均年齢	A1	A2	B1	B2
男性	3	0	0	0	3	0	46.3	0	0	2	1
女性	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0
合計	3	0	0	0	3	0	46.3	0	0	2	1

利用者の就労状況

一般就労	2
福祉的就労	1
その他(就労先未定)	0
合 計	3

担当保健福祉センター

麻生	多摩	宮前	中原	大師	田島
0	1	1	0	0	1

防火・防災訓練状況

消防用設備等点検 6/10

防火対象物立入検査 9/30 改善点等なし。

※令和 2.12.16 消防署立ち入り検査コロナ禍の為電話での聞き取りのみ
検査時入居者 3 名のみの為消防訓練の義務なしとのこと

(7) 地域生活支援事業

(ア) とも移動支援等事業所

なかはら障害福祉施設ひらま内に事業所を置き、障害福祉サービスの行動援護、川崎市の地域生活支援事業の移動支援及びあんしんサポートをヘルパー 11 名・他事業所職員 3 名で実施した。主に土曜・休日の外出余暇活動による社会参加への支援や自宅での家事援助・見守りなどの生活支援サービスを提供した。

ヘルパーのスキルアップとして行動援護従事者養成研修の受講を奨励した。

課題として、慢性的にヘルパー専任従業者が不足しており、各事業所の応援が必要な状況であり、それでも人手不足はカバーしきれず、すべてのニーズには応えられていない。

また、前年度に続き、新型コロナウイルスの影響によりサービス提供ができなかったり、行先が限られたりすることがあった。この状況下でいかに安全に実施できるようにするかが課題である。

利用状況

月	項目	利用の内容			個人数計 (否重複)
		行動援護	移動支援	合計	
4月	件数	10.0	17.0	27.0	21人
	延べ時間	59.0	103.0	162.0	
5月	件数	9.0	14.0	23.0	17人
	延べ時間	55.0	88.0	143.0	
6月	件数	11.0	12.0	23.0	18人
	延べ時間	68.5	79.5	148.0	
7月	件数	13.0	8.0	21.0	15人
	延べ時間	76.0	53.0	129.0	
8月	件数	11.0	2.0	13.0	8人
	延べ時間	56.0	14.0	70.0	
9月	件数	15.0	13.0	28.0	15人
	延べ時間	71.0	80.0	151.0	
10月	件数	12.0	8.0	20.0	15人
	延べ時間	68.0	52.0	120.0	
11月	件数	12.0	14.0	26.0	20人
	延べ時間	72.5	86.0	158.5	
12月	件数	13.0	13.0	26.0	19人
	延べ時間	76.5	82.0	158.5	
1月	件数	8.0	14.0	22.0	17人
	延べ時間	42.5	80.5	123.0	
2月	件数	8.0	7.0	15.0	11人
	延べ時間	47.0	36.0	83.0	
3月	件数	13.0	13.0	26.0	19人
	延べ時間	71.5	84.0	155.5	
合計	件数	135.0	135.0	270.0	195人
	延べ時間	763.5	838.0	1,601.5	

(イ) 日中一時支援事業所「ひらま」

なかはら障害福祉施設ひらま内に事業所を置き、利用定員 10 名で川崎市日中一時支援（障害児・者一時預かり）事業実施要綱に基づき事業を実施した。

主に夕方支援を中心にサービスを提供した。

1. 利用者の状況(延べ人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
男	31	27	43	35	26	33	35	30	28	56	23	37	404	33.7
女	37	39	42	37	19	39	46	51	51	44	40	52	497	41.4
合計	68	66	85	72	45	72	81	81	79	100	63	89	901	75.1

2. 利用者の状況(曜日別)

	月	火	水	木	金	合計
男性	2	4	3	1	2	12
女性	4	2	3	4	3	16
合計	6	6	6	5	5	28

3. 利用者の状況(障害程度区分別) ※児童 1.2.3 は児童の障害程度区分。

区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	児童1	児童2	児童3	合計
0	1	1	1	6	3	0	0	0	12

利用者援助の基本方針
<ul style="list-style-type: none"> 日中支援事業所との連携や情報の共有を図り、利用者への日常生活上の支援を行うとともに、夕方から夜間にかけての時間帯といった特性から、負担の少ない活動や内容の選択できる活動を提供する。 日中一時支援計画を作成し、それに基づき支援を行う、また既に支給決定を受けているサービスに支障をきたさないよう配慮する。
防火・防災訓練状況(実施月日・内容)…短期入所事業と合同
12月 災害時設備等の確認と避難訓練(地震)
3月 館内合同避難訓練(火災)
大きな行事・地域交流等(名称・月日・内容)
人形劇(6月より月1～2回、木曜日実施、にこにこあおむし劇団の講師を招いて演劇の道具作成、演劇の実施)
鹿島田ハロウィンかかし作り(10月)
川崎ルフロン展示作品作成(11月)
COLORS 出展作品作成(10月作成、11月ミュージアムかわさき見学)
まちかどパラアート作品作成(10月 ルリエ新川崎、幸区役所、3月 溝ノロマルイ、幸区役所50th)

(ウ) 障害者生活支援・地域交流事業

「相談交流ひらま」において、障害特性を踏まえて社会適応力や生活力を高めるための支援を行うとともに、地域住民によるボランティアを育成し、協働することで、障害者等の地域生活支援の担い手の充実を図る取り組みとして、①ボランティア協働事業 ②パラアート活動事業 ③ファーマーズ菜園事業 ④施設開放事業 ⑤情報発信事業などを行った。前年度に続き、新型コロナウイルスの影響により施設開放事業は制限せざるをえなかった。

事業名	日程	対象者	参加人数	内容	備考
地域開放事業		とも事業所・各団体		会議室・体育室貸出	とも事業所・ダンス教室への貸出
交流イベント事業	毎週火曜日		390人	ダンス教室	NEC、障害者、地域住民の参加
	4月～12月			ダンス動画作成	NEC 健康保険組合と共同
	11/13			ダンス参加	NEC レッドロケットの試合
	1/22				In Unity(中原区祭典)
	3/13				溝ノロ劇場、PV 撮影
	3/19				グレイッシュ&モモ(今井小学校)
	月2回 木曜日	日中一時 ひらま	137人	人形劇	にこにこあおむし人形劇団
12月～3月 水曜日		218人	プロジェクションマッピング	シャボン玉、オカリナ、ハンドケア	
パラアート事業	月1回 土曜日	地域・施設利用者	170人	絵画教室	Studio FLAT、はなうた図工室
	7月			作品展示	アトリエ FLAT(CHILL)
	11/12～21				Colors(ミュージアム川崎)
	10/6				まちかどパラアート(ルリエ新川崎)
	10/23				まちかどパラアート幸区役所
	10/17～11/7	生活介護・日中一時			鹿島田ハロウィンかかし
	12/17～19				Colors(グランツリー武蔵小杉)
	12/1～25				川崎ルフロン、かわさき大好きプロジェクト
	1/13～17				まちかどパラアート(溝ノロクティ)
	3/1～13				まちかどパラアート(溝ノロマルイ)
	3/26				まちかどパラアート幸区 50th イベント

デジタル 配信事業				ニュースレター・ SNS 配信	情報配信・告知
ボランテ ィア育成 事業	毎週木曜日		150 人	菜園活動	菜園を通してのボランティア活動
地域・機 関との連 携		法人内事 業所		自主製品販売・ 紹介	新川崎タウンカフェ
				食糧支援	SOS 事業(市社協)
				動画作成	中原区 50th 動画
				スタンドグラス展 示	カリタス学園、学生の作品展示

(8) 給食（配食）サービス事業

「ひらま」「ちとせ」「すえなが」の3事業所で各事業所への配食サービスを実施した。
また「ひらま」においては短期入所利用者へ給食を提供した。

(9) 地域福祉事業

主に事務局分室において次の事業を支援・実施した。

(ア) 障害者ふれあい製品振興事業

① 販売活動

- ・ 川崎信用金庫及び溝口駅南北自由通路展示即売はコロナ対応で中止
- ・ 小田商店街常設展示販売のみ実施
- ・ 個別受注斡旋実施
- ・ 新川崎タウンカフェ店舗販売実施（相談交流ひらま扱い）

② 製品展示

- ・ 川崎県民センター、市第三庁舎で展示、川崎地下街で「心のふれあい製品展」を実施

③ 広報活動：製品カタログ「HEART&HAND」作成配布

(イ) 心身障害児（者）保護者団体運営費補助事業

- ① 地域余暇活動事業（学齢障害児地域活動）
- ② 心身障害者成人を祝う会開催事業 新型コロナ対応で中止
- ③ 啓発事業（知的障害児者研修事業）新型コロナ対応で中止

(ウ) 在宅心身障害児（者）地域活動事業

- ① 知的障害児（者）対象；緑陰訓練・海水訓練・知的障害者本人部会活動
- ② 自閉症児（者）対象；体育訓練（縮小）・生活指導訓練（中止）
- ③ 肢体不自由児（者）対象；生活指導訓練

(10) 団体等補助・支援事業

- ① 川崎市育成会手をむすぶ親の会・川崎市自閉症協会・川崎市肢体不自由児者父母の会の活動費補助（市委託事業）
- ② 川崎市育成会手をむすぶ親の会事務局を分室において担った。

(1 1) 地域福祉施設ちどり会議室管理運営事業（委託）

管理受託者として事務局分室を置き会議室の管理運営を行った。

年間利用回数 571 回、年間利用人数 6,185 人

利用日 月～土曜日（第 2・第 4 日曜日の午前・午後、夜間利用；月水金）

(1 2) 地域における公益的取組

社会福祉法人の公益的取組として、地域生活支援 SOS かわさき事業の「食糧支援かわさき」の食糧保管拠点として協力した。

また、パラアート振興基金を中心にパラアート活動に取り組んだ。公益財団法人川崎市文化財団の公募型事業「アトリエひらま」や「まちかどパラアート展」を開催した。

7 付属明細書

「社会福祉法」第 45 条の 27 第 2 項及び社会福祉法施行規則」第 2 条の 25 第 3 項に規定する付属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。